



2024年6月19日

各 位

会 社 名 株式会社 fonfun

代表者名 代表取締役社長 水口 翼

(コード：2323、スタンダード市場)

問合せ先 取締役 兼 コーポレートソリューショングループ長 八田 修三

(tel:03-5365-1511 <https://www.fonfun.co.jp/contact/>)

合同会社selfreeの持分取得（完全子会社化）及び資金の借入に関するお知らせ

当社は、2024年6月19日開催の取締役会において、以下のとおり、企業向けクラウド電話システム「CallConnect」を運営する合同会社selfree(以下「selfree社」といいます)の全持分を取得しselfree社を完全子会社とすること、並びに資金の借入を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 取得の目的

当社は、2023年9月25日に開示しました新中期経営計画（対象期間：2023年10月～2026年3月）において、テックカンパニーとして再成長するための基盤強化および中核となるDX事業の創出に重点を置いています。selfree社が提供するクラウド電話システムのCallConnectは、企業と顧客のコミュニケーションをより円滑にするSaaS型のソリューションであり、サポート業務やインサイドセールスに最適化されたコールセンター向けソリューションです。また、レガシーなビジネスフォンマーケットのリプレース市場としても期待が高まっています。

当社が支援する顧客のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進において、メール、SMSに加えてクラウド電話領域の事業を獲得することで、コミュニケーション&テレフォニーードメインにおいてソリューションをワンストップで提供できるようになることが可能になります。特に当社主要事業のSMS配信サービスのバンソウSMSとCallConnectは顧客層も近接しており、2500社を超えるバンソウSMSの既存アカウントに対して、クロスセルを狙うことができ、またCallConnectの顧客基盤とあわせることで5000社に及ぶアカウント数の顧客基盤が整います。また個別顧客毎の受託開発や導入支援を伴わない完全なSaaS型のストック収入モデルとなっていることから、導入までの期間が短いという特徴を生かし、早期の事業成長、安定的な収益を積み上げることが可能となります。

クラウド電話システムの市場では、継続的に年間約10万社立ち上がっている新設法人を、ターゲット顧客のボリュームゾーンとして狙うことができ、さらに、NTTがアナログ回線を利用する固定電話のサービス提供を終了する流れから、既存法人におけるビジネスフォンからIP電話へシフトする需要も今後加速すると見込まれます。また、昨今の働き方改革やリモートワーク、在宅ワークのビジネスシーンの定着からも極めてポジティブな市場環境と考えています。

このような事業連携や市場環境に加え、業績面も総合的に勘案し早期に安定的に当社へ好影響をもたらすことが出来ると判断し、交渉の末、selfree社のすべての持分を取得することにいたしました。

2. 持分の取得について

(1)selfree 社の概要

(1)	名 称	合同会社selfree		
(2)	所 在 地	東京都新宿区新宿4-3-17		
(3)	代表者の役職・氏名	代表社員 小俣 隼人		
(4)	事 業 内 容	企業向けクラウド電話システム「CallConnect」の開発・運営		
(5)	資 本 金	1,500,000円		
(6)	設 立 年 月 日	2014年7月2日		
(7)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財務状況(百万円)			
	決 算 期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
	純 資 産	47百万円	62百万円	95百万円
	現 金 及 び 預 金	67百万円	88百万円	132百万円
	総 資 産	92百万円	100百万円	143百万円
	売 上 高	148百万円	143百万円	193百万円
	営 業 利 益	32百万円	13百万円	41百万円
	経 常 利 益	36百万円	19百万円	46百万円
	当 期 純 利 益	23百万円	14百万円	32百万円
	調整後EBITDA (参 考 値)	60百万円	47百万円	89百万円
(8)	持 分 比 率	小俣 隼人(66.66%)、畠 佑輔(33.34%)		
(9)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関 連 当 事 者 の 該 当 状 況	該当事項はありません。	

※(7)に記載の経営成績及び財務状況に記載の数字は、監査法人による監査を受けたものではありません。

※調整後EBITDAは、合同会社selfreeに対する2021年6月期、2022年6月期及び2023年6月期を対象としたデューデリジェンス等の調査の結果を踏まえ、子会社化後に発生しないことが見込まれる退任予定の役員報酬や解約予定の地代家賃等の取引や費用等、約30～50百万円を調整後の参考値です。
(税引き前当期純利益に減価償却費、のれん償却費、及び当社買収後不要な費用調整)

(2)持分取得の相手先の概要

(1)	氏 名	小俣 隼人
(2)	住 所	東京都中野区
(3)	上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	当社と当該個人及びその近親者との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引はありません

(1)	氏 名	畠 佑輔
(2)	住 所	長野県諏訪市
(3)	上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	当社と当該個人及びその近親者との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引はありません

(3) 譲受価額及び決済方法

(1)	異動前の出資比率	0%	
(2)	取得する出資持分	100%	
(3)	異動後の出資比率	100%	
(4)	取得価額	対象会社の持分	447百万円
		アドバイザー費用等	32百万円
		合計	479百万円
(5)	移動後の所有社員持分数	議決権所有割合：100%	
(6)	決済方法	現金による決済	

selfree社の財務諸表のうち、直近2023年6月期における売上高は143百万円、営業利益は41百万円であり、直前三期の売上高、営業利益も業績好調で推移しております。当社が譲り受けたのち、運営統合の削減効果等により、想定しているのれんの償却を考慮しても利益が十分に確保でき、3～4年で投資回収ができる見通しです。譲受価額を決定するにあたり、第三者機関である株式会社Stewart McLaren（東京都港区白金台5-9-5 代表取締役 小幡 治）に持分価値算定を依頼したところ、DCF法により441～661百万円と算定されており、適正な譲受価格と判断しております。なお、株式会社Stewart McLarenは当社及びselfree社との間で重要な利害関係はございません。

(4) 資金調達の方法

銀行融資による決済を予定しております。なお、新株発行を伴う資金調達(エクイティファイナンス)は予定しておりません。

(1)	借入先	株式会社みずほ銀行
(2)	借入金額	479百万円
(3)	借入日	2024年7月1日
(4)	返済期日	2029年7月31日
(5)	借入金利	1.05% + 基準金利（融資手数料、コベナンツ条件等無し）
(6)	返済方法	分割返済

3. 日程

(1)	取締役会決議日	2024年6月19日
(2)	最終取引契約締結日	2024年6月19日
(3)	取得期日	2024年7月1日(予定)

4. 会計処理の概要

当該取引は企業結合会計基準上の「取得」に該当し、444百万円が正ののれん及び顧客関連資産として発生する見込みです。

5. 今後の見通し

2024年5月15日に公表した業績予想には、本件の影響は織り込まれておりません。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。また、事業責任の管轄はクラウドソリューショングループにて受け入れ、事業の拡大を図ります。事業の円滑な遂行と既存事業とのスムーズな統合を目的に当社はselfree社を第2四半期の適切な時期に吸収合併することを計画しています。

(参考)当期業績予想(2024年5月15日公表分)及び前期連結実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (2024年3月期)	699百万円	74百万円	92百万円	68百万円
当期業績予想 (2025年3月期)	831百万円	80百万円	80百万円	80百万円

以上